

みえ治験医療ネットワーク

三重大学・三重県（行政）・三重県医師会の連携・協力による地域圏協働治験体制

みえ治験医療ネットワーク

- 中小規模医療機関 96施設
- MMC 25施設
- MMC: Mie Medical Complex (地域圏関連病院群)
- 総病床数 約9,000床
- 外来患者数 約15,000/日
- 入院患者数 約6,800/日

2003年11月より7年の治験実績

- 健康食品の臨床試験
- 企業主導による治験
- 医師主導治験
- グローバル治験
- 研究者主導の臨床研究
- 臨床研究開発センター Clinical Research Support Center
- JMA-CCT (3件)
- McLORDD試験, Gloria試験等

契約治験数

年	企業主導 (企業)	医師主導 (医師)	研究者主導 (企業)
2003	1	0	0
2004	2	0	0
2005	3	0	0
2006	4	0	0
2007	5	0	0
2008	6	0	0
2009	7	0	0
2010	8	0	0

治験参加者への参加数

年	企業主導 (企業)	医師主導 (医師)	研究者主導 (企業)
2003	11	0	0
2004	12	0	0
2005	13	0	0
2006	14	0	0
2007	15	0	0
2008	16	0	0
2009	17	0	0
2010	18	0	0

治験ネットワークに求められているもの

- ① “ひとつの医療機関のような” 効率性
 - ・セントラルIRB(CRB)の導入
 - ・手続き/書式の統一(統一書式導入の徹底)
 - ・「ネットワークの事務局」として窓口一本化
 - ・加盟医療機関への実施可能性一括調査
 - ・進捗および品質の管理・責任(当事者意識)
- ② “海外の大規模な医療機関のような” パワー
- ③ “必ず選びたくなるような” ネットワークの特色(売り)

三重大学病院/みえ治験医療ネットワークでのCRB推進の課題と解決策の提案

1. MMC中核病院の設立母体が異なる
2. CRBに対しては総論賛成、各論では問題
 - 各病院の治験責任医師がIRBでプレゼンすることでプロトコルの理解と自覚が深まる、治験事務局の要望、また、インセンティブの等の問題が存在

↓

- ・各病院の治験責任医師、治験事務局担当者が病院にしながらIRBに参加(Skype等を用いたインターネット会議)
意見述べる場を提供
- ・中央IRBの経費を見直し、治験参加病院にも分配

↓

三重大学病院IRBは、すでにパソコン会議を実施している